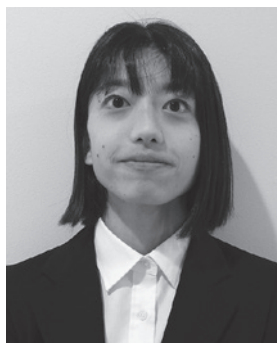


地域おこし協力隊のふくしま散歩！



地域おこし協力隊
赤松 瑚子

福島町青少年交流センター新潮学舎ハウスマスターの赤松です。

4月に新入生を迎えた春の桜の風景も、今では色鮮やかな紅葉の景色へと変わりつつあります。

新年度になり早くも約半年が過ぎましたが、これまでとはまた異なる空気がこの新潮学舎に流れているように感じます。

まず、全体のエネルギー・活力が増えたような気がします。地域のお祭りだけでなく、寮内でのイベントの企画など、自らさまざまなことに参画しようとする寮生が増えました。

また、全体としてもそのような雰囲気が広がっており、先日も料理の得意な1年生の子が、中国料理の火鍋を寮生にふるまっていました。自分たちの暮らしを自分たちの手で豊かにすることは、とても大切です。

次に、人数が増えたことで、大小さまざまな不満や課題がより表面化してきました。

これは一見すると、寮の雰囲気が悪くなっているように感じられるかもしれませんが。



札幌にてインターンシップを開催！
全国の高校生とも交流しました

しかし、そうした不満・課題が出てきた際に、いかにお互いにコミュニケーションを取り、解決に向かっていけるかを大切にしています。

寮生活では、無自覚のうちに周囲に迷惑をかけてしまうこともあります。だからこそ、お互いに気づいたことを伝え合い、相手の立場も考えながら、みんなでよりよい生活をつくっていくことが重要です。

最近では、そうしたことを少しずつ意識し、課題を一緒に改善していこうとする空気が、寮の中に生まれ始めています。

最後になりますが、新潮学舎で暮らす高校生へのご理解・ご協力を今後とも、変わらずよろしくお願いいたします。



青春の1ページを福島町の海で



花火でひと夏の思い出を